

議 事 録

					記録者 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ 主幹 鈴木純司		
供覧	教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	主査係長	係員
件 名	令和7年度 第1回 歴史民俗資料館運営審議会						
日 時	令和7年7月2日(水) 午前10時00分～午前11時00分						
場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 2階 多目的室						
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課						
出席者	【委 員】酒入委員長、堤副委員長、黒田委員、小野委員、由波委員、佐藤委員、望月委員、沼田委員 【事務局】大古教育長、松崎課長、清水課長補佐、森田課長補佐、油原主幹、飯野主幹、記録者、由利会計年度職員						
欠席者	諸橋委員、塚本委員						
傍聴人	0人						
議事録署名人	酒入委員長、佐藤委員						
〈会議の内容〉 1 開 会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 議長選出 6 議長あいさつ 7 議 事 ・議案第1号 令和6年度歴史民俗資料館事業報告について 8 閉 会							
事務局 (森田)	(1 開会)						
教育長	(2 教育長あいさつ)						
事務局 (森田)	(3 委員紹介) (4 事務局紹介) (5 議長選出) 歴史民俗資料館設置管理条例施行規則第16条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、この後の議事進行を酒入委員長にお願いいたします。						
議長	(6 議長あいさつ) (10名中8名の委員が出席しているため会議成立)						

	(議事録署名人として議長本人と 佐藤委員を指名。)
委員	(各委員「異議なし」)
7 議事	
議長	議案第1号「令和6年度歴史民俗資料館事業報告について」事務局の説明を願います。
事務局 (油原)	(資料に基づき説明)
議長	ありがとうございます。ただいまの事業報告につきまして、ご意見、またご質問ございましたらお願いいたします。 本日は学校関係者、博物館と、色々な参加者がいらっしゃいます。様々な視点からのご意見があると思いますので、せっかくの機会ですからぜひ、ご意見・ご質問いただきたいと思います。
小野委員	『りゅうほー』の龍ヶ崎よもやま話ですけれども、私龍ヶ崎市民なので、掲載のたびに楽しく読ませていただいております。できればもっと回数を多くしていただければと思います。多くの事業をされているので、なかなか労力が必要だとは思いますが、楽しみにしているということを、ぜひ記録に残していただければと思います。
事務局 (油原)	龍ヶ崎よもやま話については、今まで不定期掲載でした。市の広報誌が、今年の6月から変わって、月1回発行という形になりました。資料館の体験学習とか、募集なども含めまして、毎月半ページもらっておりますので、その募集がない月などに、よもやま話を、1人1話ずつ担当しながら、掲載できるときはしていきたいと考えております。
小野委員	無理のない範囲でお願いいたします。
議長	ありがとうございます。毎年出る話ですが、資料館もたくさんの事業をなさっていますので、無理のないように行ってください。 事業報告に関すること何か疑問ですとかそういった物があればお願いいたします。
沼田委員	まず、(2)古文書講座についてです。2つの古文書講座があって、その講師のうち1人は龍ヶ崎市古文書同好会員と書いてあります。そういう同好会の方々と馴染みコミュニティセンターなどで、講座などをされている人たちがいるというのは知っているんですが、その方々が解説したのを見る機会とか、やったことをちょっとだけでも良いので皆さんにお知らせする機会があると、こういう会なんだとか、講座なんだなっていうのがわかるので良いと思います。 続きまして(3)市内の祭礼や年中行事の調査についてです。昭和47年の舞男さんへのインタビューテープの件ですが、テープの内容はデジタル音源に多分なっているかと思います。お子さんとか若い人たちからしたら、その当時の人の声を聞くという機会もあまりないので、そのテープ自体、聞き取りづらいという話も聞いていますが、中身の詳細が、一般の人にも伝わるような機会があれば良いと思いますが、いかがでしょうか。
議長	ありがとうございます。資料調査の成果を今後、どのように公開していくかという問題かと思えます。こちらについて、事務局からお願いいたします。
事務局	古文書講座につきましては、初級から入っていただき上級、さらには古文書同好会に進んでいただいて、勉強していくという形で、段階的に進めています。その中で

	筆耕した資料もいろいろあるので、公開するということは非常に大切だと思います。ただ当然、費用がかかりますので、そこをどうしていくかというのも、今後の検討課題でもあります。 瀬ノ尾さんのインタビューテープについてです。こちらの方は入手した後どうやって聞かかが問題でしたが、幸いまちづくり・文化財団がかつて当館を管理しておりましたので、その関係で、文化会館でデジタル化して、それを筆耕した次第でございます。関係する展示の時や撞舞会場などで、こういうものがありますのでちょっと聞いてくださいという形でテープを流すのも一つの方法だと思います。 このような、インタビューテープやその他古文書の筆耕なども市史研究や紀要のような形で、なるべく公開する機会を設けたいとは思っておりますが予算の問題もあります。今後いろんなメディアで、筆耕したデータを公開するのは、比較的簡単でございますので、今後検討していきたいと思っております。
議長	ありがとうございました。公開についても検討中ということで、色々な問題がありますけれども、利用していただきたいと思います。インタビューテープについても、デジタル化は終わっているということです。保存の方は大丈夫であるようです。その公開についても計画しているということですね。
堤副委員長	いつも拝見して、多くの大変な事業をされていて、感心しております。私は、社会教育・生涯学習の立場にあります。その立場から言いますと、生涯学習というのは、ご承知のようにいつでも、どこでも、誰でも、学びを行うということです。 そうすると、当館のように、たくさんの事業を提供していただいて、そこへ市民の方が選択して入ってこられているということはありがたいと思います。あとは、民俗資料館というお立場があるとは思いますが、いわゆる公民館活動や交流センター活動とは違う、目指しているところが多少違うと思いますが、市民の方々が民俗資料館に対して例えばこんなことをして欲しいとか、こういうものがあつたらいいなといった思いを確認していくことが必要であると思います。そういう市民の方のニーズにあわせた新しい事業を検討することも必要かと思えます。 このようにたくさんの事業をやられてるところは、本当にすばらしいことで、いつも敬服しております。
議長	ありがとうございます。社会教育の立場から資料館が現在はボランティアや、古文書同好会などで利用されていますが、それ以外に、市民の方に対して何か利用の場を提供することについて、そういったことを、やっていらっしゃるのか、考えていらっしゃるのか、という質問でよろしいですか。事務局お願いします。
事務局 (油原)	現在下の企画展示室で、長崎の原爆展を開催しております。会議後ご覧いただきたいと思っておりますが、そこで来館者アンケートを取っております。多くの資料館でもそうだと思いますが、企画展示の際はアンケート調査を行っております。また体験学習や講座を行ったときも、その都度アンケート調査を行っております。 それらの内容について、館内で考察して、課長まで回覧しています。毎回その事業の前のアンケートを読み返しなが、意見があればそれを改良しようと、リニューアルなどを考えながら進めております。 例えば、草木染教室は非常に女性の方に人気の講座の受付です。今までは電話で先着順で受け付けていましたが、先着順ですと、いつも同じ人が来たりするので、今回は募集期間を決めてその後に抽選で決定するという形で募集しています。その方が受講機会の均等を図れると考えています。そういったことを含めてアンケートのフィードバックをしているところでございます。
議長	ありがとうございます。すでに利用されている方はたくさん利用されているわけですが、さらに多くの方が利用するにはどうしたら良いか、というようなご意見だった

	のかなというふうに思います。
堤副委員長	生涯学習について、色々な階層の方々の学習をサポートしていく中で一番の課題は、青少年の立場、つまり若い方々の学習をどのようにサポートしていくかということです。特に龍ヶ崎市は、新聞等で拝見すると中学生や高校生、大学生も含めて盛んに、いろいろな活動をされています。そういった方々への切込みも、さらにされていくと、より楽しくなると思います。
議長	ありがとうございました。おそらく青少年の来館者数については、どこも問題のかなと思います。出前授業等もされていますが、博物館とリンクするアイディアですか、それ以外にご意見ありましたら、お願いいたします。
黒田委員	私は小学校3年生の社会科の見学学習の際、子どもたちと一緒に来館して、昔の道具の展示を拝見したり、糸つむぎや機織り機の体験をさせていただきました。 子どもたちはすごく楽しそうに機織り機の体験をしていました。また昔の道具について、実際にこういうふうに使うとか、こんなふうな工夫があるということを館の方から説明を受けて、大人の私も驚いたり、感心したりしたという経験があるので、こういうことを広げていけたら、今レトロブームだったりもするので、そういう部分と絡めて一般の方に向けて説明するというのは良いのではと感じました。 また、「昔の遊びと学校」の展示も見学しましたが、子どもたちから、「遊びたい」という声がありました。昔の玩具で遊ぶということができれば、子どもたちも興味を持ってここに来るし、おうちの方も懐かしさで、会話も広がるのではないかと思います。
事務局 (油原)	福祉の方で回想法という療法があります。そのようなことでデイサービスセンターの方などが来ています。その際ご要望があれば解説をすることもありますし、その方々は逆に使った世代ですから、我々よりもリアリティがある説明をされる方もいらっしゃると思います。 「昔の遊びと道具」の展示では、ボードゲームなども展示しました。去年新聞紙上でも話題になったかと思いますが、一般の収集家の方が、「使えるものですからどうぞ使ってください」ということでお客さんに使わせたのですが、結局壊されてしまうのでガラスの中にしまってしまったという事例があります。そのあたりの、使ってもらいたいものと、使わせられないものについては難しい判断があります。できることなら本当は、使っていただけるのが一番良いとは思っています。 ベーゴマなどの団体もありましたが、活動を停止されてしまっているようです。職員の中でできる者もおりますので、何かの折にはそういう体験も検討していきたいと考えています。
由波委員	感想として、いつも思っていることですが、こちらの館は本当に広範な活動を展開されていて、広報活動やすごく生活に密着した企画展示、体験活動、など本当に頭が下がる思いで、今回のご説明受けました。特に市民や学校関係、高齢者の方というところに密着していると思っています。 令和になり、平成も過去になってしまったので、今の子どもたちは昭和に対してものすごく遠い印象を持っています。歴史というものは、その時代を自分と引き付けて考えられないと、興味関心を持ってもらえません。そこで実際に色々なものに触れてもらうとか、身をもって体験するということは、時代を自分の方に引きつける理解する上で大切なので、その点ですごく大切な試みだなと思います。しかし事務局からもありましたが、使ってもらいたいとは思っても、壊されてしまうというのは私も同じ県立歴史館にいますので同じような悩みを身に染みて感じています。 我々県立歴史館も博学連携を進めていきたいと思っていますが、ノウハウは、市町村立の歴史民俗資料館さんの方がお持ちだと思います。つい先日はうちの民俗担当のものがわら草履づくり教室に参加して色々ご教示いただきまして、今後我々

	もそれを生かそうと考えている所です。これからもそういった市民生活と密着するという、今の姿勢を続けていただければと思います。 時間と人数が限られている中で先ほど小野委員からありましたが、毎月の広報活動として文章で出していくということは、大なことだろうなと思います。 毎年続けられている十六羅漢像の複製公開展についてです。十六羅漢の原資料をうちの館で預かっているということもありまして、うちの館にも年に2本くらい問い合わせがあります。やはり興味関心持ってらっしゃる方は、多いと思います。どこに行ったら見られるかという質問にはこちらをご紹介したりしています。また、金龍寺に関する問い合わせも受けることがあります。特に新田義貞のお墓がなぜあるのか聞かれるので、新田義貞はやはりビッグネームで、歴史好きの方々は皆さんよくご存じなので、その辺りとのつながりを、外部にアピールされると、県外あたりからも興味関心を持っている方がいらっしゃったりするのでは、と思います。
事務局 (油原)	十六羅漢像については、他館から貸してくれないかという、申出はありますが、原資料の所蔵者(金龍寺)からは、当館で公開するという条件で、レプリカを作る許可を得ておりますので、館外に貸し出すのはなかなか難しいです。先ほどご説明した通り、レプリカの全16幅が出来上ってから、4回展示を行っているので、新鮮味が大幅落ちております。 また先ほど由波委員からありました、金龍寺に関するアピールというのもちょっと難しいと思います。以前、金龍寺さんからは、「京都の観光寺ではないので、あまり来て欲しくない」というようなお話をいただいております。ですから金龍寺に関しては、逆にお客が行かないように、こちらで金龍寺に対する資料を、作成して配るような形にしたいと思っております。
由波委員	我々はお寺や神社について、どうしても文化財として見てしまいがちですが、信仰の対象でもありますので、見方がそれぞれ違うということは、私も御住職や神主さんと接して思っています。それぞれの立場をバランスよく取り入れて、伝えていくべきだと思います。
議長	歴史民俗資料館が金龍寺とのつながりの中で、今ようやくレプリカを作って、公開にこぎつけたということだと思います。この事業を続けていって、いずれ公開できるようになるかもしれないというように、歴史資料については大切に保存しながら、長い目で見て継承していくことが必要だと、今お伺いして強く思いました。他いかがでしょうか。
望月委員	私は観光物産協会の会長をしております。デジタルスタンプラリーにご協力いただきましてありがとうございます。 昨年度も、商工観光課と協力して開催いたしました。昨年と比べると、ちょっと参加者数がちょっと少なくなったと感じていました。各スタンプの設置間隔が今回ちょっと離れていたもので、小さいお子様を連れの方が、敬遠してしまって参加者が少なかったのかと思っています。今年度はスタンプの位置を密集した形でやっていただけるという話をいただいているので、ぜひたくさん参加をしていただきたいと思います。また来年、再来年とご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。
議長	時期はいつですか。
事務局 (油原)	昨年度は12月9日から2月14日までの間でした。日程についてですが、12月9日は月曜日でした。休館日から始まりますと、私どもも苦勞するところがありますので、事務局の方と日程などを調整していきたいと思っておりますので、望月会長、よろしくお願いいたします。
沼田委員	私もスタンプラリーに参加しましたが、龍ヶ崎は冬ものすごく風が強いんです。私は

	頑張ってスタンプを全部回りましたが、高齢者の方とかだったら危ないような風が吹いていました。もうちょっと、夏に行うとか時期を考えることが必要かと思います。
望月委員	時期につきましては、事務局で決めるときは、子どもたちに参加してもらうために、休み期間ということで、例えば夏休みとか、冬休みに日程を考えています。今回ですと冬休みに入っています。夏の期間は撞舞の運営などありまして、事務局がバタバタしております。今年は選挙もありちょっと事務局が動けない状況です、自分としてもできれば夏に行いたいとは思っているのですがなかなか、難しいです。
議長	これも意見をいただいて、次の検討課題になると思います。
望月委員	検討してまいります。
議長	それでは佐藤委員、専門的なご意見等もございましたら、お願いできますでしょうか。
佐藤委員	専門的な意見、というわけではありませんが、私はこの資料館がここまですごい展示を、毎年毎年なさっていることに資料館の皆さんの努力に敬意を表しています。職員の方もかなり勉強されていますので、教育長、できれば予算の方お願いします。難しいとは思いますが、皆さんも四苦八苦しながら展示をしていますので、意見として申し上げました。 地域のお子さんたちの利用は、役所から学校に対して働きかけをするというよりも、学校の中で先生方が見学などの授業計画をどういうふうにするか、それをどういうふうに伸ばしていく、どういうふうに活用していくかというのが大きなポイントになると思う。教育の中で地域の資料館を大いに活用してほしいと思います それともう1つ、お子さんたちが、こういったところに家族で来たりしたとき、そういう方々に、ここへ来て何が一番印象だったかと聞いたら、生活の道具というのものにもすごく興味持ったというのです。まさに今の時代の生活で使っている道具と、昔の道具を対比して見ている。 こういう資料というのは、全国にたくさんあります。利用者は本来、本物を見たいわけです。資料館としては本物を見せなくてはいけないのですが、そこに行くまでに時間とか経費とかがかかって難しい。ですから、いろんな資料館と連携しながら、なるべく本物をお子さんたちに見せてあげていただきたいと思うので、そういうお願いをしたいと思います。 そういうことを大きく計画をしていただいて、運営していただければ幸いです。
議長	第二次龍ヶ崎市教育プランの中で、こちらの資料館は学校についても、生涯学習等の高齢者についても、様々な方面に渡って活動の要になっていると言っても良いと思います。今日は予算を話す場ではないのですが、企画を行うためにも、維持するにも予算がかかりますので、これだけの活動をやっているということも、ぜひ教育長にも考慮いただいて、こちらの事業がよい形で進んでいくようになればいいなと思いましたので、僭越ながら、意見を述べさせていただきました。 その他ご意見はございませんか。
事務局 (森田)	事務局より一点お願いがございます。只今下で長崎原爆被災写真パネル展を開催しておりますので、よろしければこの後見ていただきたいと思います。 また、この展示に続きまして、当館主催で、戦時収蔵資料展を8月1日から開催いたします。こちらは戦後80年ということで、平和への願いをこめて展示をさせていただく方で今計画を進めております。機会があれば、皆さんで来ていただきたいと思います。以上でございます。
議長	ありがとうございます。では令和6年度事業報告につきまして皆様方のご意見あり

	ありがとうございました。 以上をもちまして、令和7年度第1回歴史民俗資料館運営審議会を閉会させていただきます。		
閉会			
次回会議予定	次回開催日程等については、(1月～2月)別途調整後、決定		
情報公開	公 開	非公開(一部非公開を含む)とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)
		公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)	年 月 日
	令和7年7月2日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 7 年 7 月 日 議事録署名人 議事録署名人		